

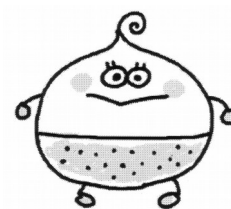
HDM推進会（第 38回）／ごみゼロネット推進会（第 60回）議事録

開催日： 2013年(H25年)5月8日(水) 10:00～11:50

場所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 加藤、平林、大橋、杉本、川村、山本、桐生（作成）

議題： ① 3/18の第21回HDM導入検討会の議事録点検、②市会議員への説明会、



1. 資料「第 21 回 HDM 導入検討会」の議事録点検（全員）

- 2012/4月の人事異動でごみ対策課に来た今井 KH が 2013/4月の人事異動で企画部へ去った。この議事録は彼の最後の議事録となった。
- 標記議事録全文を加藤氏が読み上げ、問題箇所あれば全員で討議した。内容的には公平な立場で過不足なく書かれていると評価できる。稲葉市長は「HDMは実証試験を要しない実用化された方式だ」と判断しているため、「25 kg / 日の分散型 HDM 処理装置の実証試験は不要と判断して予算処置できなかった」との筋書きである。このためごみ対策課としては「本件の発展的解消」を目指している。
- 4/24に第22回HDM導入検討会が行われたが、企画部より後任として来た秋山KHは当日インフルエンザに罹り欠席し、小野Kだけと当会メンバーが会談した。その議事録は未だ作成されていない。

2. 情勢分析と対策検討

- 2006/11月に設立された「ごみ特（ごみ対策特別委員会）」は役割を終えたとの理由で6月定例会議での廃止議決に向けて多数派工作中。ごみ特が無くなるのは、我々にとっては悪いニュースであり、阻止へ向けて活動できることはないか。駄目なら専門委員会としてでも残したい。何もなくなると、我々は手がかりを失い、全ては議会での議決に委ねることになる。（加藤）
- 地域分散型の生ごみ処理施設の運営要綱作りが8月目標で作成中。9月に開示される予定。
- 日野市の新焼却炉でやってもらえるなら、小金井市は差し当たり分別収集等の必要もないとの雰囲気は議員たちの間でも感じる。日野市の施設完了は早くても2019/4月であり、ごみ減量の必要は去った訳でない。

3. 「HDM実証試験」の経緯を市会議員に説明する件の計画と担当

- (1) 説明資料は表書きとして加藤氏作成の2013/5/8付け「生ごみ分別収集による燃やすごみの大幅な減量」と、具体的提案として2013/4/6付け「生ごみ分別収集・処理3000t減量5年計画」を使用する。
この場で読み合わせ、誤字の訂正を行った。最終稿を加藤氏よりMLに送信する。
- (2) 10会派に対し、説明者正副の割付を行った。
共産党：加藤・川村／みんなの党・小金井刷新の会：平林・山本／生活ネットワーク・市民自治小金井・小金井を面白くする会：大橋・山本／こがねい市民会議：桐生・平林／民主党：桐生・大橋・山本／
自民党：加藤・X／公明党：加藤・Y／改革連合：加藤・Z（XYZはその時に対応可能な者）
- (3) 最終稿は当日中に加藤氏よりMLに送信する。担当者は直ちに議員各位に電連絡してアポをとり、行動開始のこと。

以

上

ごみ対策課との次回の「HDM 導入検討会儀」：5月20日9：30より本町暫定庁舎第3会議室

次回打合せ 6月12日(水) 10：00～12：00 コミュニティサロン・はけ

